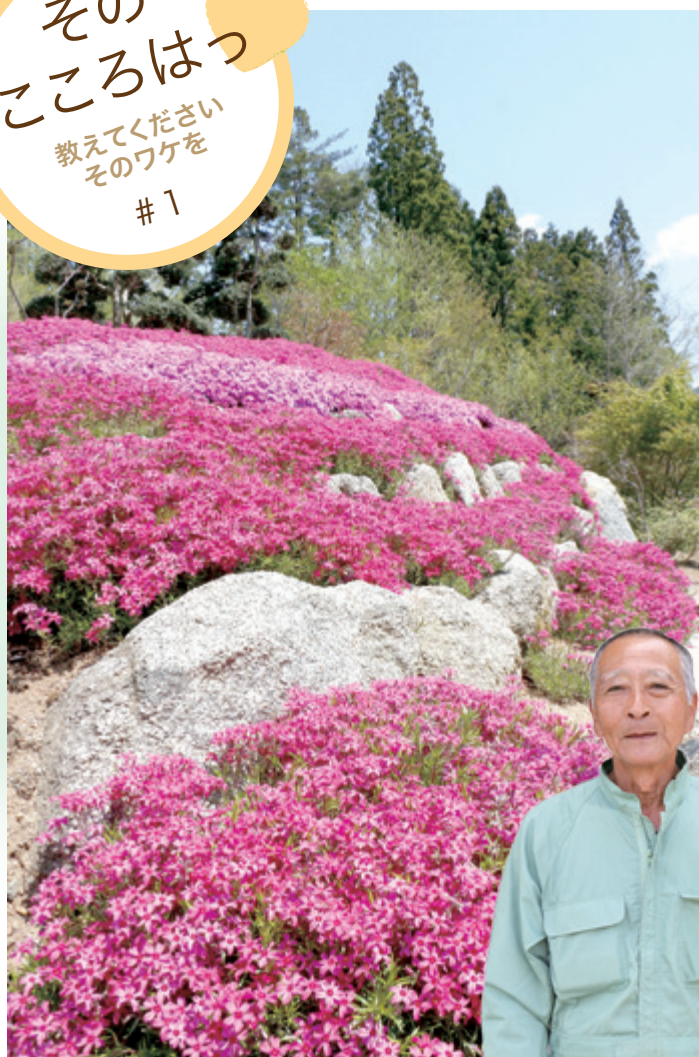


その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#1



庭先の石垣からこぼれるように咲いたシバザクラ。避難先の福島市から毎日通って愛犬の世話をしながらか「農地も庭も荒らしておきたくない」と手入れをしてきた大谷さんの花です。「俺は木こり。今は原木を扱う福島事業所で仕事をしている。家族の事情もあり今はまだ戻れないが、いずれは夫婦で戻りたいと思っているよ」と話します。「昨日は健診で村の人としゃべっ

て来た。やっぱりいいな」。数十メートルの幅に積まれた石垣は、かつて大谷さん自身が重機で積んだもの。「知人から、処分に困っていた石を譲り受け、家のリフォームに立ち会いながら積んだんだよ。シバザクラも十数年になるね」と大谷さん。「がんばってるよ。家の周りにアヤメやレンゲツツジも増やしている。村の人達にいつでも見てもらいたいね」。

大谷 操 さん
二枚橋・須萱

おかえりなさい！ 補助金申請500件



菅野村長から目録を受け取る
佐藤さん(前列右)

帰村にかかる引越し費用の一部として一律20万円を補助する「飯館村『おかえりなさい』補助金」の申請が500件に達し、村役場で記念のセレモニーが行われました。
500件目は5月21日、申請を行ったのは、佐藤保記さん(前田・八和木)です。佐藤さんには、菅野村長から、補助金の目録と、日用品を組み合わせた記念品「生活応援グッズ」が贈られました。
佐藤さんの自宅は、震災前に完成したばかりでした。「避難先の福島市から通って空気を入れ替えたり、草刈りをしたりしてきました」と佐藤さん。村内企業を退職した後は、見守り隊でも活動しました。申請に訪れた窓口で突然500人目と告げられ、菅野村長も駆けつけて行われたセレモニー。佐藤さんは「ちょうど500人目とは、びっくりしました」と笑顔を見せていました。



4月13日、荒井・信夫飯館自治会が、土湯温泉「福うさぎ」で解散式を行いました。「避難生活を支え合った仲間と交流を続けたい」という声に応え、今後もパークゴルフでの交流や同窓会の開催を行っていきます。



4月16日、交流センター「ふれ愛館」で開かれた「飯館村の行財政を学ぶ会(発起人・横山秀人さん/前田・八和木)」。

村役場のほっとコーナーに登場した鮮やかなアレンジメントフラワー。飯館村更生保護女性会の依頼を受けて、宇沢千賀子さん(大久保・外内)が生けたもので、会の好意で総会後に役場に飾っていただきました。



村民生児童委員協議会・村老人クラブ連合会・ふくしま再生の会による「健康いちばん!の集い」が、4月22日、いちばん館で開かれ、多くの参加者が、健康講座や会食を楽しみ交流しました。



草野地区の体育館で毎週水曜日に活動している飯館村ゲートボール協会の皆さん。初心者も加入し、交流の輪が広がっています。5月15日は3チームに分かれて試合を楽しみ、横山八郎さんチームが優勝しました。

払い下げとなった仮設住宅の建材を活用した「風と土の家」



5月12日、佐須行政区地域活性化協議会が整備した農泊施設「風と土の家」の開所式が開かれました。式の後には公民館で、虎捕太鼓の練習を見学。餅つきも行い出席者らが交流しました。